

関係節の序列と位置に関する日中対照研究

盛 文 忠*

キーワード：日中対照，関係節，語順，類型論

要 旨

多項関係節共起の語順，関係節と他の修飾成分との順序については今までほとんど言及されていない。日本語を中国語に訳す場合，中国語訳文の語順（特に関係節と他の連体修飾成分との順序）が不自然に思われるものが数多くある。本研究は日中両言語における関係節の序列と位置について対照し，日中対訳コーパスを利用して両言語の共通点と相違点を分析し，さらにその背後に潜んでいる原則を明らかにした。これらの背後には意味近接原則，音節の長さの原則，時間的前後の原則，識別度原則などの原則が働いている。複数の原則が協調し，一致している場合には，語順が極めて安定していて，語順の入れ替わりは一般に認められない。逆に，複数の原則がお互いに衝突し，競合している場合には，語順が安定しておらず，語順の入れ替わりが認められる。また，関係節と形容詞，修飾名詞，指示詞との語順においては，語順の制限が厳格であるといわれる中国語より，語順が比較的自由であるといわれる日本語の方が，語順への制限が厳しい。これは語順類型論的要因によるところが大きい。

0. はじめに

関係節 (relative clause)¹ とは，名詞句に関連づけられた節で，名詞句を修飾する働きをしている。日本語では一般に「連体修飾節」² と呼び，中国語では一般に“关系从句”と呼ぶ。日中両言語とも修飾節が主名詞の前に来る。日本語では，「私買った車」のように，修飾節の用言の連体形によって修飾節とその後の主名詞を接続し，両者の間に「の」などの要素が入らない。中国語では，“我买的车”のように，一般に構造助詞³ “的”を使って修飾節と主名詞の関係を表し，両者を接続する⁴。

関係節の序列と文中位置に関する類型論的な先行研究は，主名詞との順序について考察したも

*SHENG Wenzhong：北京外国語大学ポスドクター

¹ 詳しくはコムリー (1992: 152-155) を参照されたい。

² 詳しくは大島，奥津，寺村などの一連の研究を参照されたい。

³ 中国語では“结构助词”と呼ぶ。

⁴ 詳しくは劉丹青 (2005) を参照されたい。

のがほとんどである。多項関係節が共起する場合⁵の語順、関係節と他の修飾成分との順序についてはあまり言及されていないのが現状である。本研究は日中両言語における関係節の序列と位置を対照し、両言語の共通点と相違点を分析し、さらにその背後に潜んでいる原則を明らかにしたい。

1. 語順と関係節の種類

コムリー (Bernard Comrie 1981) は語順類型論の角度から関係節を次の三種類に分けている。

- a 関係節が主名詞の後にくる (NR) : 英語等
- b 関係節が主名詞の前にくる (RN) : 中国語, 日本語, トルコ語等
- c 主名詞が関係節内にある (RNR) : バンバラ語⁶等

このうち, a, b の二種類が多く言語に見られ, c はごくわずかな言語にしか見られない。

本研究は山本 (2003) を踏まえ, 2,932 の言語から 485 言語⁷を取り出し, それらの関係節の位置について統計を出した。結果は表 1 のようである。

表 1 から分かるように, SVO 言語の中では, 関係節が主名詞の前にくる言語がごくわずかであるのに対して, SOV 言語の中では, 関係節が主名詞の前にくる言語が三分の二を占めている。中国語と日本語の関係節は同じく主名詞の前にくる。関係節というパラメータにおいては, 中国語は SVO 言語の中で極めて特殊なものであるのに対して, 日本語は大多数の SOV 言語に一致している。

2. 以下では, 関係節と他の修飾成分との序列を, 多項関係節 (2.), 関係節と形容詞 (3.), 関係節と修飾名詞 (4.), 関係節と指示詞 (5.) の順に検討していく。

表 1 関係節の位置

	SVO 言語 (218)	SOV 言語 (267)
NR : RN	(212) 97% : (6) 3%	(90) 34% : (177) 66%

⁵ 「多項関係節共起」とは, 複数の関係節が同じ主名詞を修飾することである。

⁶ バンバラ語 (bambara) は, アフリカのマリ共和国, ブルキナファソ, コートジボワール, ガンビアで話されるニジェール・コンゴ語族マンデ語群西マンデ語に属する言語である。

⁷ 一種類の語順しか持たない言語の中の SOV 言語と SVO 言語に限る。

2. 多項関係節共起の順序

2-1. 意味近接原則

多項関係節が共起する場合、いったいどのような順序をとるのであろうか。まず、日本語の例文を見てみよう。

- (1) 慈念の通学している紫野大徳寺にある中学から、蓮沼良典という教師が孤峯庵をたずねてきたのは七月十二日のことだった。(雁の寺)
- (2) 曾根の訪ねて行った先は、虎ノ門の近くの小さいビルに編集室を持っている特殊な学術出版で知られている東洋出版社である。(あした来る人)
- (3) 26日午前7時半ごろ、岐阜県揖斐川町谷汲長瀬の無職、横山ちよさん(80)の住宅で、台所付近の屋根が落ちて横山さんが下敷きになっているのを、横山さんを病院に送るために訪ねてきた近くに住む長女が見つけた。(NHK ニュース 2005年12月26日)
- (4) 松山市のホームページに掲載された市内の児童、生徒に関する不審者情報は、今年に入ってもう40件に達しています。(毎日新聞 2006年4月17日)
- (5) 政府が進めている郵便貯金・簡易保険という巨大な公的金融を民間の手に戻す郵政民営化も日本の金融には大きな影響を及ぼす。(日本経済新聞・社説 2004年11月25日)

上の例文から次のような傾向が見られる。

A 一時的修飾成分 > 恒常的修飾成分⁸

これは意味近接原則⁹が働いていると考えられる。

I 意味上主名詞に遠いもの > 意味上主名詞に近いもの

すなわち、意味上、より恒常的な性質を持つものが主名詞に近い位置に現れるのに対して、より一時的な性質を持つものが主名詞から遠い位置に現れている。もし、順序が入れ替わると、意味がとれにくくなったり、文が極めて不自然になったりするのである。たとえば、

- (1') ?¹⁰ 紫野大徳寺にある慈念の通学している中学から、蓮沼良典という教師が孤峯庵をたずねてきたのは七月十二日のことだった。
- (2') ? ? 曾根の訪ねて行った先は、特殊な学術出版で知られている虎ノ門の近くの小さいビルに編集室を持っている東洋出版社である。

⁸ 「A>B」はAがBに前置することを表す。

⁹ 意味上関連のある項目はできるだけ近接する。または、概念的空間の中で、意味的距離の近い項目は文における距離も近い。中川(1997:29-30)は「近接性原理 Principle of Affinity」と呼び、「現実世界で近い関係にあるものは、文においても近い位置を占める」と述べている。また、袁毓林(2002:318)をも参照されたい。本研究における「意味近接原則」は中川(1997)や袁(2002)の概念を名前を変えて援用したものである。

¹⁰ 「?」は文がやや不自然であり、「??」は文がかなり不自然であり、「*」は非文であるという意味を表す。

(4), (5) では、後の修飾節がいずれも内容的なもので、主名詞の性質を表すのに対して、前の修飾節はほとんど一時的で、主名詞の内容とかけ離れている。

中国語でも、日本語と同じように、意味近接原則が働いている。たとえば、

- (6) 1993年元旦之夜，南国羊城沉浸在一片辞旧迎新的欢乐之中，广州中医学院第一附属医院教授袁浩却因当日《羊城晚报》登载的有关韩素云事迹的报道心情沉重。(CCL)

1993年元旦の夜，南国の羊城は新年を迎える楽しい雰囲気に入れられ，広州中医学院第一附属病院教授袁浩は当日の『羊城晚报』に掲載されている韓素雲のことに関する報道で気が重くなった。(仮訳)

- (7) 有的对上级制定的有关音像管理的政策法规知之甚少，有的对解决发现的问题缺乏力度。(CCL)

ある人は上級機関の作っていた音声，画像管理に関する政策，規則をほとんど知らなく，ある人は見つけた問題を解決する力が足りない。(仮訳)

- (8) 应全国人大常委会邀请，正在我国访问的、由柬埔寨国会主席谢辛率领的柬埔寨王国国会代表团，今天也旁听了大会。(CCL)

全人代常務委員会の招聘に応じ，わが国で訪問している，カンボジア上院議長チア・シムを始めとするカンボジア王国国会代表团も今日の大会を傍聴した。(仮訳)

上の例文では、いずれも意味近接原則が働いている。後の修飾節がより内容的なものであり、主名詞の性質がより多く反映されている。

2-2. 音節の長さ

また、日本語では、音節の長さの原則も働いている。すなわち、

II 音節の長いもの > 音節の短いもの

- (3), (9), (10) がその例である。

- (9) 俺は自分の村に、たった一人で住んでいる 老いた 寡婦に目をつけた。(金閣寺)

- (10) そんな鉄の格子だけでなく、住む人たちの目や声という 生きた 格子にも命を守る力があるはずだ。(朝日新聞「天声人語」2006年4月4日)

(9) の「老いた」と (10) の「生きた」はその直後の主名詞の性質を表すものであり、語構成上において主名詞との結びつきが極めて緊密である。つまり、意味近接原則と音節の長さの原則という二つの原則に一致している。この場合、二つの原則がともに働いているので、語順が極めて安定している。

しかし、日本語の多項関係節共起の場合、音節の長さの原則は決定的な働きをしていない。

(5) のようにこの原則に違反する場合もある。これは、日本語が形態に富んでいる言語なので、関係節の場合にその節の最後が必ず連体形をとり、修飾関係に誤解が生じないかぎり、節がどこ

まで終わるかが一目で分かるからであろう。したがって、前の修飾節が長い場合もあれば、後の方が長い場合もある。

中国語の場合にも、日本語と同じように、音節の長さの原則より他の原則の方が優先される。

(6) のように前の修飾節が長い場合もあれば、(8) のように後の方が長い場合もある。(6) と(8) ではいずれも意味近接原則が優先されている。

2-3. 文法構造

また、日本語では次のような文法構造上の傾向が見られる。すなわち、

B 主格成分を含む関係節>主格成分を含まない関係節

(1), (5) がその例である。この場合、語順の入れ替わりは一般に認められない。たとえば、

(5') *郵便貯金・簡易保険という巨大な公的金融を民間の手に戻す政府が進めている郵政民営化も日本の金融には大きな影響を及ぼす。

中国語でもこのような傾向が見られる。(7) がその例であり、(7') のような語順の入れ替わりは一般に認められない。

(7') *有的对有关音像管理的上级制定的政策法规知之甚少，有的对解决发现的问题缺乏力度。

*ある人は音声、画像管理に関する上級機関の作っていた政策、規則をほとんど知らなく、ある人は見つかった問題を解決する力が足りない。

2-4. 時間的前後の原則

次の中国語の例文から時間的前後の原則¹¹が観察される。

III 時間的に先に生じたもの>時間的に後に生じたもの

(11) 日本政府4月17日宣布，一名失踪了半个世纪且已经被宣告死亡的二战日军士兵近日突然在乌克兰现身，并准备回国看望他在日本的亲属。(人民网 2006年4月21日)

日本政府は4月17日、半世紀も行方不明になっていて、死亡と宣告されていた第二次世界大戦の一人の旧日本軍兵士が突然ウクライナで身が現れ、本人が帰国して彼の日本にいる親族との面会を予定している、と述べている。(仮訳)

(12) 对2005年中通过各种渠道收集的、且已经核实的假新闻进行全面地梳理和盘点，并将以网友投票的结果为依据推出“2005年十大假新闻”，公布于人民网和《新闻记者》。(人民网 2005年12月13日)

¹¹Tai (1985), 戴浩一 (1988) は“时间顺序原则”(Principle of Temporal Sequence) と呼び、「二つの文法単位の相互順序はそれらの表す概念領域における状態の時間的順序によるものである」と述べている。児玉 (1991: 115-129) は「写像一貫性の原則」と呼び、「外界における出来事の時間的順序に従って事態を認知する」と述べている。本研究における「時間的前後の原則」は、Tai (1985), 戴浩一 (1988), 児玉 (1991) などの概念を名前を変えて援用したものである。

2005年内の各ルートによって収集され、すでに確認されていた偽ニュースに対して全面的に調べ、ネット・フレンドの投票結果を拠り所にして、「2005年トップ10の偽ニュース」を選出し、人民網と『新聞記者』に公表する。(仮訳)

上の例文はいずれも時間的前後の原則に合致している。つまり、前の修飾節の状態または行為が後の修飾節より先に生起するのである。この場合には、語順の変更はほとんど認められない。

日本語の多項関係節も時間的前後の原則に一致する。ただ、この場合、(13)、(14)のように、時間的前後関係の二つの修飾節は一般に動詞の連用中止形または「～て」などによって接続されている¹²。(1)～(5)のように、動詞の連体形(テイル形、タ形等)によって二つの修飾節が接続されるものはそのほとんどが状態や性質を表しているため、意味的に一時的なものか恒常的なものかによって語順が決まる。(13)、(14)の場合は事態を表すため、事態の生起した順により語順が決まる。

(13) 2006年3月に県内の県立・私立高校を卒業し、国公立大学へ進学した人は昨年より114人多い1176人で過去最多の数字となった。(琉球新報 2006年4月28日)

(14) 東京都板橋区の建設会社社員寮で昨年6月、管理人夫婦を長男が殺害して部屋を爆破した事件で、殺人と激発物破裂の罪に問われた元都立高校生の少年(16)の公判が27日、東京地裁であった。(読売新聞 2006年4月27日)

2.5. 並立関係の場合

また、中国語では、“而”“且”“又”などの“连词”¹³や読点(“、”)などによって修飾節の並立関係を表すことができる。この場合、修飾節の順序を入れ替えることもできる。たとえば、

(15) 根据法国法律，没有奖学金且具有合法居留许可的外国学生在某些条件下可以打工。(新华网 2006年4月26日)

フランスの法律によると、奨学金がなく、合法的な居留許可を持っている外国の学生が一定の条件でアルバイトをすることができる。(仮訳)

(16) 贸易经济将与国际接轨，懂外语又学有专长的管理人才特别受欢迎。(CCL)

貿易経済は国際的な軌道に乗ろうとし、外国語に精通し、一定の特長を持っている管理人材は特に人気がある。(仮訳)

上記の例文では、並立関係をなしている二つの修飾節は同等の二つの必須条件であるので、順序が入れ替わっても文の意味は変わらないのである。日本語にもこの原則が当てはまる。たとえば、

¹² 本研究では、動詞の連用中止形または「～て」などによって接続される多項修飾節も多項関係節として扱う。

¹³ 日本語の接続詞にほぼ当たる。

- (15') 根据法国法律, 具有合法居留许可且没有奖学金的外国学生在某些条件下可以打工.
フランスの法律によると, 合法的な居留許可を持っていて, 奨学金がない外国の学生
が一定の条件でアルバイトをすることができる.
- (16') 貿易経済将与国际接轨, 学有专长又懂外语的管理人才特别受欢迎.
貿易経済は国際的な軌道に乗ろうとし, 一定の特長を持っていて, 外国語に精通する
管理人材は特に人気がある.

3. 関係節と形容詞の順序

3-1. 日本語の場合

次に、関係節と形容詞が主名詞を修飾する順序について検討したい。まず、日本語の例文を見よう。

- (17) 波と, 濡れている黒い石と, 雨だけがあった。(金閣寺)
- (18) ふたりの男性に求愛された美しい女性が, 心を決めかねて死を選ぶ——。(朝日新聞
「天声人語」2004年11月21日)
- (19) さらに関空については, 避けて通れない複雑な問題がある¹⁴。(日本経済新聞・社説
2004年12月15日)
- (20) 金融庁検査では銀行の貸出債権を厳しく査定し, 必要に応じ公的資金の追加注入や実質
国有化も辞さない厳しい姿勢で臨んだ。(日本経済新聞・社説 2004年12月27日)

上の例文では、いずれも関係節が形容詞に先行している。すなわち、

C 関係節 > 形容詞 > 主名詞 (R > A > N)

形容詞はものやことの内在的・恒常的な性質を表すのに対して、関係節は一時的な特性を表すことが多い。たとえば、(17)では、「濡れている」が石の一時的な特性、「黒い」が石の恒常的な特性であり、形容詞が関係節に比べると、より主名詞の性質を反映しているものと思われる¹⁵。したがって、意味近接原則により、形容詞が主名詞により近い位置に現れているのだろう。つまり、この場合、日本語では、意味近接原則が優先されている。また、音節の長さの原則も働いている。

また(20)では、形容詞「厳しい」は極めて主観的なものである。それに対して、関係節は全体として比較的客観的なものである。次のような傾向が見られる。

¹⁴ ここでは、いわゆる形容動詞も形容詞に含めて扱う。

¹⁵ 中川・李(1997:108)は、「一般的に言って、中国語では、修飾語がともに一音節語の場合、被修飾語の内実・属性に深くかかわるものほど被修飾語の近くに現れる」と述べている。日本語にもこのような傾向が見られる。

D 客観的事態>主観的判断

これは識別度原則¹⁶にも合致している。すなわち、

IV 識別度の高いもの>識別度の低いもの

この場合、音節の長さの原則と識別度原則という複数の原則が協調し、一致しているので、語順は極めて安定している。この場合、語順の入れ替わりはほとんど認められない。たとえば、

(20') ??金融庁検査では銀行の貸出債権を厳しく査定し、必要に応じ厳しい公的資金の追加注入や実質国有化も辞さない姿勢で臨んだ。

もちろん、特別な文脈や語用論的要請がある場合には、語順が入れ替わることも可能である。ただ、この場合、関係節は形容詞とほぼ同じぐらいの長さであるのがふつうである。たとえば、

(21) 時雄はその蒲団を敷き、夜着をかけ、冷たい汚れた天鵝絨の襟に顔を埋めて泣いた。
(布団)

他铺上那床褥子，把棉被盖在身上，用既凉又脏的天鵝絨被口捂着臉，哭了起来。(訳文)

(21') 時雄はその蒲団を敷き、夜着をかけ、汚れた冷たい天鵝絨の襟に顔を埋めて泣いた。

(21)は「冷たい」という情報が先に認知されている場合であり、(21')は「汚れた」という情報が先に認知されている場合である。なお、(21)のような例文は極めて少ない。

また、関係節に格成分がある場合、一般に「形容詞>関係節>主名詞」(A>R>N)という語順は認められない。これは、形容詞が関係節の格成分を修飾する誤解が生じやすいからである。たとえば、

(18') ??美しいふたりの男性に求愛された女性が、心を決めかねて死を選ぶ――。

(18')では、「美しい」が「ふたりの男性」を修飾するという誤解が生じやすい。こうした誤解を避けるために、日本語では、一般に関係節が形容詞に先行するという語順をとるのである。もし「A+N₁+後置詞+V+N₂ (主名詞)」語順をとると、もともとN₂を修飾するAがN₁を修飾する誤解が生じやすい。そのため、一般に「N₁+後置詞+V+A+N₂」語順をとるのである。つまり、関係節が形容詞に先行する語順をとる。

¹⁶ 陸丙甫 (2005) は、Lambrecht (1994) の術語“identifiability”を“可別度”(識別度)と訳し、それを定性(definiteness)または指示性(referentiality)に近い存在と規定し、広義的な指示性であるとしている。識別度を一つのカテゴリーとするなら、指示性がそのプロトタイプで、情報の新旧、有生性(animacy)、数量(number)、有界性(boundedness)などがその周辺事例である。上記の概念を“可別度”(識別度)という一つ概念に統合できる。つまり、指示性の強いものが弱いものより識別度が高く、旧情報が新情報より識別度が高く、有生性の高いものが低いものより識別度が高く、多数のものが少数のものより識別度が高く、有界的なものが非有界的なものより識別度が高い。また、陸丙甫は“可別度領前原理”を提示し、二つの成分の序列について、「他のすべての条件が同等である場合、識別度の高い成分がその低い成分に先行する」と述べている。本研究における「識別度原則」は陸丙甫(2005)の概念を名前を変えて援用したものである。

3-2. 中国語の場合

次に中国語の例文を見てみよう。中国語でも日本語と同じように、関係節が形容詞に前置されることがある。

- (22) 总经理公勃告诉记者：节前市属各大书店及时组织调进适应各种文化层次和年龄结构读者的、高层次高质量的有益图书。(CCL)

総経理公勃は、休日前に市属の各書店及び組織が各知識層と年齢層の読者に適し、ハイレベルで質の高い有益な図書を仕入れることになっている、と記者に述べている。(仮訳)

- (23) 加利在一项声明中说，最新停火协议是波黑各族人民在新年之际得到的美好礼物，是朝着波黑实现真正和平迈出的重要的第一步。(CCL)

ガリ事務総長は声明の中で、最新の停戦協議はボスニア・ヘルツェゴビナの各民族の人々が新年を迎える際にいただいた素晴らしいプレゼントであり、ボスニア・ヘルツェゴビナが真の和平への道を歩む重要な第一歩である、と述べている。(仮訳)

上の例文はすべて意味近接原則と音節の長さの原則に一致している。

一方、中国語の場合は、形容詞が関係節に先行することもある。たとえば、

- (24) 原来冷却剂已经发生了聚合反应，生成聚四氟乙烯——一种非常滑且能抵抗高温和化学反应的树脂。(新华网 2006年3月10日)

冷却剤がすでに重合反応を行ない、高温と化学反応に耐えられるすべすべの樹脂の一種であるポリテトラフルオロエチレンを生産した。(仮訳)

- (25) 我衷心感谢那么多善良的、为我奔波的人们。(CCL)

いろいろ奔走してくださる多くの善良な人々に心より感謝する。(仮訳)

上の例文は日本語に翻訳した場合の語順と正反対である。上の例文では識別度原則によって、形容詞が前置される語順が選ばれている。中国語では、“而”“且”“又”“但”などの“连词”または読点“、”などを使用することによって、日本語のような修飾の誤解を免れることができるので、この語順が可能になるのである。ただ、(24)(25)は、音節の長さの原則と意味近接原則に違反している。したがって、識別度原則が音節の長さの原則、意味近接原則と競合していることになり、語順の入れ替わりが認められる。たとえば、

- (24') 原来冷却剂已经发生了聚合反应，生成聚四氟乙烯——一种能抵抗高温和化学反应的非常滑的树脂。

- (25') 我衷心感谢那么多为我奔波的、善良的人们。

しかし、中国語の関係節と形容詞の語順は常に入れ替え可能というわけではない。(23')(26')のように、関係節と形容詞の語順を入れ替えることができない場合もある。

- (23') *加利在一项声明中说，最新停火协议是波黑各族人民在新年之际得到的美好礼物，是重

要的朝着波黑实现真正和平迈出的第一步。

(26) 刚把静宜接到北京来的短暂的充满希望的日子。(活动变人形)

静宜是北京へ迎えた当初の短かったが希望に溢れた日々。(訳文)

(26') *短暂的刚把静宜接到北京来的充满希望的日子。

ここから分かるように、中国語では、関係節と形容詞が主名詞を修飾する場合、一般に「関係節>形容詞>主名詞」(R>A>N)と「形容詞>関係節>主名詞」(A>R>N)という両方の語順をとることが可能である。後者の語順を前者の方に入れ替えることはできるが、(23') (26')のように、前者の語順を後者の方に入れ替えることが認められない場合もある。

また、中国語では、次のような語構成上の傾向が見られる。

E “的”の省略できない修飾成分>“的”の省略できる修飾成分

(27) 中国汽车行业竞争激烈，规模生产问题尚未解决，开拓国内汽车市场的优势尚未形成，加入世贸后，将面临外国汽车大量涌入的巨大压力。(CCL)

中国の自動車産業は競争が激しく、量産化の問題がまだ解決されず、国内自動車市場を開拓する優勢もまだ形成されず、WTOに加盟した後、外国の自動車が大量に殺到する巨大な圧力に直面しなければならないことになる。(仮訳)

(28) 在美国，学费是表现一所学校教育质量和信誉的重要指标之一。(CCL)

アメリカでは、学費は学校の教育の質と信用を表す重要な指標の一つである。(仮訳)

(27), (28) では、いずれも“的”の省略できない修飾成分が“的”の省略できる修飾成分に先行している。その順序の入れ替わりは一般に認められない。

要するに、日本語では、「関係節>形容詞>主名詞」(R>A>N)という順序をとっているのに対して、中国語では、「関係節>形容詞>主名詞」(R>A>N)と「形容詞>関係節>主名詞」(A>R>N)の両方が可能である。これは、語順類型論的要因によるところが大きい。

日本語はSOV言語であり、中国語はSVO言語である。関係節に主語が現れる場合、関係節と形容詞の両方が主名詞を修飾する語順として、日本語では「SOV+A+N」と「A+SOV+N」という二つの論理的可能性がある。前の方は全く問題がないが、後の方はAがSを修飾するという誤解が生じやすいため、ほとんど認められない。中国語でも同様である。つまり、「SVO+A+N」と「A+SVO+N」という二つの語順配列が論理的に可能であるが、日本語と同じように、後者はほとんど認められない。

ところが、関係節には、主語の現れない場合が多い。この場合には、日本語では、「OV+A+N」と「A+OV+N」という二つの語順配列が可能である。後者では、AがOを修飾するという誤解が生じやすいため、ほとんど認められない。他の格の場合も同様である。それに対して、中国語では、「VO+A+N」と「A+VO+N」という二つの可能な語順がある。そのいずれも修飾関係上の誤解が生じない。したがって、中国語では、両方の語順が認められるのである。

4. 関係節と修飾名詞の順序

4-1. 日本語の場合

次に、関係節と修飾名詞が主名詞を修飾するときの順序を見てみよう。まず、日本語の例文を見てみよう。

- (29) フォークとナイフを動かしている白い手と、格好のいい胸を包んでいる水色のスーツが、視野にはいると、曾根は身体を快適な情感が伝わって行くのを感じずる。(あした来る人)

当那搅动刀叉的纤纤玉手和胸部线条绝佳的水色连衣裙闪进眼帘的时候，曾根觉得一股愉悦之感通遍全身。(訳文)

- (30) パキスタン南部シンド州で13日未明起きた同国国鉄の多重衝突事故は、死者約150人、負傷者約1000人に上った。(毎日新聞 2005年7月13日)

- (31) 預金を集めて貸し出しをするという従来のモデルだけでは、多様化する企業や個人のニーズには応えきれない。(日本経済新聞・社説 2004年11月25日)

上の例文から次のような語順傾向が見られる。

F 関係節 > 修飾名詞₁ の > 主名詞 (R > N₁ の > N₂)

これは意味近接原則によるものと考えられる。つまり、修飾名詞はたいていものやことの性質、特性、属性などを表し、意味的に極めて主名詞に近いため、構文上も主名詞の直前に置かれるのである。その間に関係節が割り込むのはほとんど認められない。もし、修飾名詞が関係節に前置されるとすれば、修飾関係の混乱や構文上の混乱が生じやすい。たとえば、

- (31') *従来の預金を集めて貸し出しをするというモデルだけでは、多様化する企業や個人のニーズには応えきれない。

4-2. 中国語の場合

中国語でも日本語と同じような語順傾向が見られる。(29)の中国語訳文がその例である。また、次の例文もそうである。

- (32) 1994年の奋斗历程告诉我们，党中央在年初确定的全党和全国工作的大局：“抓住机遇，深化改革，扩大开放，促进发展，保持稳定”，是多么及时，多么正确！（CCL）

1994年の奮闘の過程は、党中央が年初に確定した「機運を捕まえ、改革を深化させ、開放を拡大させ、発展を促進し、安定を保持する」という全党及び全国工作の大局が如何に時宜にかなっているか、如何に正しかったか、ということを語ってくれる。(仮訳)

- (33) 物理所一定能够按照自己的发展战略，逐步成为具有国际科研水平的、全国物理学的重

要研究中心之一。(CCL)

物理所はきっと自身の発展戦略に従い、国際的科学研究レベルを有する、全国物理学の重要な研究センターになれるはずである。(仮訳)

また、この場合も語順類型論的な要因によるところが大きい。つまり、日本語では、「(S)OV+N₁の+N₂」と「N₁の+(S)OV+N₂」という二つの語順配列の可能性がある。後者では、「N₁の」がSまたはOを修飾するという混乱が生じやすい。そのため、一般に前者の語順をとるのである。一方、中国語では、「(S)VO+N₁的+N₂」と「N₁的+(S)VO+N₂」という二つの語順配列が可能である。Sの現れる場合には、後者の語順は一般に認められない。たとえば、

(32') *1994年の奋斗历程告诉我们，全党和全国的党中央在年初确定的工作的大局：“抓住机遇，深化改革，扩大开放，促进发展，保持稳定”，是多么及时，多么正确！

それに対して、Sの現れない場合には、後者の語順が認められる。たとえば、

(33') 物理所一定能够按照自己的发展战略，逐步成为全国物理学的、具有国际科研水平的重要研究中心之一。

要するに、日本語では、一般に「関係節>修飾名詞+の>主名詞」(R>N₁の>N₂)という一つの語順しかとらないのに対して、中国語では、「関係節>修飾名詞+的>主名詞」(R>N₁的>N₂)と「修飾名詞+的>関係節>主名詞」(N₁的>R>N₂)という両方の語順が認められるが、一般に前者が優勢語順となる¹⁷。

5. 関係節と指示詞の順序

5-1. 日本語の場合

次に、関係節と指示詞が主名詞を修飾するときの順序について検討してみたい。まずは日本語の例文を見てみよう。

(34) 梶は銀座の酒場で偶然発見したこの小娘に、酒場から足を洗わせて、洋裁店を持たせてやっている。(あした来る人)

(35) 南嶽がたびたびいったその言葉が、里子の耳たぶの奥でいまでも生きていた。(雁の寺)

(36) 南泉和尚の斬ったあの猫が曲者だったのさ。(金閣寺)

上の例文から次のような語順傾向が観察される。

G 関係節>指示詞>主名詞 (R>D>N)

¹⁷ 中国語では、関係節と修飾名詞が主名詞を修飾する場合、「(S)VO+N₁的+N₂」と「N₁的+(S)VO+N₂」という二つの語順配列が可能である。関係節に主語(S)が現れる場合、後者の語順が認められにくいので、前者が優勢語順である。

この背後には意味近接原則が働いている。つまり、指示詞は主名詞を特定し、主名詞との結びつきがかなり緊密なので、主名詞の直前に置かれるのである。もし、指示詞が関係節の前に置かれると、修飾関係が混乱してしまう恐れがある。たとえば、

(34') ?? 梶はこの銀座の酒場で偶然発見した小娘に、酒場から足を洗わせて、洋裁店を持たせてやっている。

(35') ?? その南嶽がたびたびいった言葉が、里子の耳たぶの奥でいまでも生きていた。

(36') ?? あの南泉和尚の斬った猫が曲者だったのさ。

また、この場合も語順類型論的要因によるところが大きい。SOV 語順の日本語では、「(S)OV+D+N」と「D+(S)OV+N」という二つの語順配列が可能であるが、後者では、指示詞 (D) が主語 (S) または目的語 (O) を修飾する誤解が招かれやすいため、一般に前者の語順だけ認められる。

また、関係節に他の格がある場合も同様である。日本語は後置詞型言語であり、格成分は一般に「N+格助詞 (C)」からなる。この場合、もし指示詞が関係節の前にくると、「D+N₁+C+V+N₂」となり、指示詞が他の格成分の名詞 (N₁) を修飾する誤解が生じやすい。

もちろん、日本語の会話では、ポーズによって指示詞を関係節の前に置く場合もあるが、本研究ではそれを考察の対象としない。

5-2. 中国語の場合

次に、中国語の例文を見てみよう。

(37) 由昆明市投资60多万元兴建的这所小学，设在明代杰出的地理学家，探险旅行家徐霞客的居住地，以纪念和弘扬徐霞客的爱国主义精神。(CCL)

昆明市の60万元の投資によって建築されたこの小学校は、明代の有名な地理学者、探検家である徐霞客の居住地に設けられ、これをもって徐霞客の愛国主義精神を記念し、発揚する。(仮訳)

(38) 他们耕种的那片山坡地，大小不一的鹅卵石比比皆是，很像瓜地里的西瓜。(CCL)

彼らの耕している山の斜面にあるあの畑は、石ころでいっぱい、瓜の畑にある西瓜によく似ている。(仮訳)

(39) 我也是想趁机看看这座我为之流血流汗建设了几年的城市过年时灿烂如画的风景，也分享一下它节日的喧闹和文明，欢乐，祥和。(CCL)

私もついでに私が血や汗を流して数年もかかって築き上げたこの都市の新年を迎えるときの絵のような景色を見て、その休日の賑やかさ、楽しさ、平和、文明的なものを味わってみたい。(仮訳)

(40) 不久汕滴将那颗800万铢买来的蓝宝石又以3000万铢转手卖给一新加坡珠宝商。(CCL)

その後まもなく油滴は 800 万パーツで購入したあのサファイアを 3000 万パーツの値段でシンガポールのある宝石の商人に転売した。(仮訳)

上の例文から分かるように、(37)、(38)は「関係節>指示詞>主名詞」(R>D>N)という語順をとり、(39)、(40)は「指示詞>関係節>主名詞」(D>R>N)という語順をとっている。つまり中国語では両方の語順が認められる。

これもまた、語順類型論的な観点から解釈できる。関係節に主語が現れる場合、SVO 語順の中国語では、一般に「SVO+D+N」と「D+SVO+N」という二つの語順配列が可能である。前者は全く問題がないが、後者は指示詞が S を修飾する誤解を招きやすい。しかし、この場合、中国語では一般に指示詞の後に類別詞がついている。指示詞と主名詞との修飾関係は類別詞によって表わせる。たとえば、(39)の“座”，(40)の“顆”などである。こういった類別詞によって、指示詞の修飾関係の混乱が避けられるのである。

また、関係節に主語が現れない場合、「D+VO+N」となるので、指示詞の直後に類別詞がなくても、修飾関係の混乱は起こらないのである。たとえば、

- (41) 他那善良的，富有爱心和责任感的心灵世界中，蕴含着极为丰富的内容。(CCL)

彼の善良で、愛に満ち，責任感のあるあの心の中に、極めて豊富な内容が包含されている。(仮訳)

- (42) 他那在县宣传部打字的老同学给他个消息，省里要开一个笔会。(小鲍庄)

県委員会宣伝部でタイプを打っているあの同級生が、省で“筆会”が開かれることを彼に知らせてきた。(訳文)

他の格の場合はどうであろうか。中国語では前置詞も後置詞も使用されているが、前置詞の方が優勢である¹⁸。たとえば、場所格の場合には、場所の前に“在”がつけられる。関係節に場所格がある場合には、「D+前置詞“在”+N₁+V+N₂」という語順配列である。この場合、指示詞の直後に類別詞がなくても、前置詞“在”を修飾することができないので、指示詞と主名詞(N₂)との修飾関係が識別できるわけである。(42)がそれである。

また、関係節に“把”，“被”などの前置詞がある例文も前置詞“在”の場合と同様である¹⁹。例(42')では、指示詞“那”の後に類別詞“位”を加えると、指示詞と関係節との語順を入れ替えても文は成り立つ。例(43)～(45)では、「関係節>指示詞」(R>D)の語順をとり、例(46)、(47)では、「指示詞>関係節」(D>R)の語順をとる。そして、(43')～(47')のように、関係

¹⁸ 劉丹青(2003)では、「中国語は基本的には前置詞言語であるが、後置詞も大量に存在する」と述べている。

¹⁹ 中国語の前置詞“把”，“被”などがある例文に関しては、中日対訳コーパス(北京日本学研究中心 2003)の中国語原文(39篇)を検索した。「“把”+OV+M(修飾成分)+N」や「M+“把”+OV+N」の構造をとる例文はわずか8例しか見つからなかったが、「“被”+(S)V+M+N」や「M+“被”+(S)V+N」の構造をとる例文は数多くある。

節と指示詞の語順を入れ替えることも認められる。

(42') 他在县委宣传部打字的那位老同学给他个消息, 省里要开一个笔会。

(43) 他没有管自己的车子, 赶忙过去扶起把他撞倒的那个人, 还给那个人拍掉身上的土……
(金光大道)

ぶつけられた方が自分の自転車にかまわず, 馳けよってぶつけた男を助けおこし, その泥をはらってやっている…… (訳文)

(43') 他没有管自己的车子, 赶忙过去扶起那个把他撞倒的人, 还给那个人拍掉身上的土……

(44) 他的头脑里又转开了被朱铁汉打断的那个问题。(金光大道)

朱鉄漢のためにとぎれた問題がまたよみがえってきた。(訳文)

(44') 他的头脑里又转开了那个被朱铁汉打断的问题。

(45) 偷偷地睁眼看看, 妈妈手里拿着那张照片, 被撕碎的那张照片。(人啊, 人)

こっそり目を開けると, お母さんがあの写真, 引き裂かれたあの写真を持っている。
(訳文)

(45') 偷偷地睁眼看看, 妈妈手里拿着那张照片, 那张被撕碎的照片。

(46) 她的前途依然是一片浓密的黑暗, 那一线被纯洁的爱情所带来的光明也给人家摧残了。
(家)

暗黒, 目の前に横たわるものは依然としてあの濃く深い暗黒だった。あの純潔な愛情から, 射していた一縷の光明も空しく打ちくだかれた。(訳文)

(46') 她的前途依然是一片浓密的黑暗, 被纯洁的爱情所带来的那一线光明也给人家摧残了。

(47) “不, 不, 你快不要去说!” 她惊惶地叫起来, 连忙把那只未被她捏住的右手伸出去蒙他的嘴。(家)

「いけません, いけませんわ。そんなことおっしゃっては」彼女は驚いて叫んで, 自由になっていた右手で彼の口をふさいだ。(訳文)

(47') “不, 不, 你快不要去说!” 她惊惶地叫起来, 连忙把未被她捏住的那只右手伸出去蒙他的嘴。

以上のように, 中国語では類型論的に, 「関係節>指示詞」, 「指示詞>関係節」の両方の語順が可能なので, 語順の決定においては, 他の原則との競合が問題になる。(37), (38), (43), (44), (45) では, 音節の長さの原則により, 「関係節>指示詞>主名詞」(R>D>N) という語順をとるのである。(39), (40), (46), (47) では「指示詞>関係節>主名詞」(D>R>N) という語順をとるのは識別度原則によるものである。

中国語では, この二つの原則がお互いに衝突し, 競合しているので, 語順が安定しておらず, 両方の語順が認められるのである。

なお, 『CCL コーパス』と『中日対訳コーパス』の中国語原文から無作為に関係節と指示詞が

表2 中国語における関係節と指示詞が主名詞を修飾する例文数の比率

	D>R	R>D	計
这	45 (83.3%)	9 (16.7%)	54 (100%)
那	58 (72.5%)	22 (27.5%)	80 (100%)
計	103 (76.3%)	31 (23.1%)	134 (100%)

主名詞を修飾する例文を抽出し（全体の約3%を抽出）、統計をとったところ、次のようになった。

表2から分かるように、中国語では、関係節と指示詞が主名詞を修飾する場合、「指示詞>関係節」(D>R)の語順をとる例文の数が四分之三を超え、「関係節>指示詞」(R>D)の語順をとる例文より数をはるかに多い。つまり、中国語では、「D>R」の語順が圧倒的な優勢をもっていることが観察される。

以上から分かるように、関係節と指示詞が主名詞を修飾する場合、SVO語順の中国語は類別詞や前置詞を使うことによって、指示詞と主名詞との修飾関係を誤解なく示すことができる。そのため、「指示詞>関係節>主名詞」(D>R>N)と「関係節>指示詞>主名詞」(R>D>N)という両方の語順が認められるが、前者が圧倒的な優勢をもっている。一方、日本語の場合、指示詞と類別詞を一緒に使うことができない。また日本語は後置詞型言語であり、前置詞がない。そのためSOV語順の日本語では、一般に「関係節>指示詞>主名詞」(R>D>N)の語順しか認められない。「指示詞>関係節>主名詞」(D>R>N)の語順をとると、指示詞が主名詞以外の格成分を修飾する可能性が出るため、この語順は一般に認められない。

6. ま と め

多項関係節共起の順序においては、日中両言語とも、音節の長さの原則より意味近接原則の方が優先されている。そして、日中両言語とも同じような文法構造上の傾向が見られる。つまり、「傾向性B：主格成分を含む関係節>主格成分を含まない関係節」である。また、日本語でも中国語でも時間的前後の原則が守られている。時間的前後関係や並立関係の修飾節同士を接続する場合、中国語では“而”“且”“又”などの“连词”や読点(“、”)などによって接続されるのに対して、日本語では一般に動詞の連用中止形または「～て」などによって接続されている。つまり、多項関係節共起の順序においては、日中両言語の共通するところが大きい。

しかし、関係節と形容詞、修飾名詞、指示詞との語順においては、日中両言語は次のような異なる様相を呈している。

表3から分かるように、関係節と形容詞、修飾名詞、指示詞との語順においては、語順の制限

表 3²⁰ 日中両言語の関係節の序列及び位置

	日本語	中国語
関係節 (R) と形容詞 (A)	R>A>N	R>A>N/A>R>N
関係節 (R) と名詞 (N _i)	R>N _i の>N ₂	R>N _i 的>N ₂ /n _i 的>r>n ₂
関係節 (R) と指示詞 (D)	R>D>N	D>R>N/r>d>n

が厳格であるといわれる中国語より、語順が比較的自由であるといわれる日本語の方が、語順への制限が厳しい。これは語順類型論的要因によるところが大きい。

また、こういった語順の背後には意味近接原則、音節の長さの原則、時間的前後の原則、識別度原則などの原則が働いている。複数の原則が協調し、一致している場合には、語順が極めて安定していて、語順の入れ替わりは一般に認められない。逆に、複数の原則がお互いに衝突し、競合している場合には、語順が安定しておらず、語順の入れ替わりが認められる。

用例出典

NHK ニュース	NHK
朝日新聞「天声人語」	朝日新聞社
あした来る人	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
雁の寺	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
金閣寺	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
斜陽	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
日本経済新聞・社説	日本経済新聞社
ノルウェイの森	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
布団	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
毎日新聞	毎日新聞社
読売新聞	読売新聞社
琉球新報	琉球新報社
CCL	北京大学汉语语言学研究中心 『CCL语料庫』 2005
活动変人形	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
家	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
金光大道	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
人啊，人	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003

²⁰ 「R>N_i 的>N₂」のように、大文字で書いたものは優勢語順であり、「n_i 的>r>n₂」のように、劣勢な方を小文字で表記する。N₁とn_iは修飾名詞を表し、N₂とn₂は主名詞を表す。

人民网	人民日报社
小鲍庄	北京日本学研究中心 『中日対訳コーパス』 2003
新华网	新华通讯社

謝 辞

本研究をまとめるにあたり、たくさんの有益なご助言をくださった彭広陸先生、徐一平先生、池上嘉彦先生、守屋三千代先生に感謝の意を表します。また、査読者の方々からも貴重なご指摘を頂き、厚く御礼申し上げます。

参 考 文 献

- 大島資生 (2003) 「第5章 連体修飾の構造」北原保雄編 『朝倉日本語講座5 文法1』朝倉書店, 90-108
- 奥津敬一郎 (2004) 「連体修飾とは何か」『日本語学』Vol. 23 No. 3, 明治書院, 6-16
- 児玉徳美 (1991) 『言語のしくみ——意味と形の統合』大修館書店
- 柴谷方良 (1989) 「言語類型論」『英語学大系 第6巻 英語学の関連分野』大修館書店, 1-179
- 盛文忠 (2006) 『語順に関する日中対照研究——修飾成分を中心に』北京大学博士学位論文
- 寺村秀夫 (1992) 『寺村秀雄論文集1——日本文法編』くろしお出版
- 中川正之 (1997) 「中国語、日本語、英語における共同行為者と道具をめぐる」『大河内康憲教授退官記念 中国語学論文集』東方書店, 29-46
- 中川正之・李浚哲 (1997) 「日中両国語における数量表現」『日本語と中国語の対照研究論文集』くろしお出版, 95-116
- バーナード・コムリー (1992) 松本克己・山本秀樹訳 『言語普遍性と言語類型論——統語論と形態論』ひつじ書房 (Bernard Comrie. 1981・1989. *Language Universals and Linguistic Typology: Syntax and Morphology*)
- 山本秀樹 (2003) 『世界諸言語の地理的・系統的語順分布とその変遷』溪水社
- 戴浩一 (1988) 「時間順序和汉语的語序」『国外語言学1』, 10-20
- 劉丹青 (2003) 『語序類型学与介词理论』商務印書館
- (2005) 「汉语关系从句标记类型初探」『中国語文1』商務印書館, 3-15
- 陸丙甫 (2005) 「語序優勢の認知解釋——論可別度對語序的普遍影響」『當代語言学1, 2』1-15, 132-138
- 袁毓林 (2002) 「多項副詞共現的語序原則及其認知解釋」『語言学論叢26』商務印書館, 313-339
- Lambrecht, Knud. 1994. *Information Structure and Sentence form*. Cambridge University Press.
- Tai, James. 1985. *Temporal Sequence and Word Order in Chinese. Iconicity in Syntax*, John Haiman, ed., Amsterdam: John Benjamins Publishing Company, 49-72.